

# 令和6年度 高次脳機能障害者「家族のつどい」のご案内

## 高次脳機能障害とは？

## 脳梗塞や脳出血

事故等の頭部外傷による後遺症



脳の損傷が原因で、記憶力、注意力、計画的に物事に取り組む能力や意欲が低下したり、感情のコントロールができにくくなったりする状態を「高次脳機能障害」と呼んでいます。

この障害は、外見からはわかりにくいため、周囲からの理解が得られにくく、ご本人やご家族は戸惑い、さまざまな不安を持つなど共通した悩みを抱えています。そこで、新潟県高次脳機能障害相談支援センターでは、ご家族を対象とした「家族のつどい」を下記のとおり開催します。

みなさんで日ごろの悩みや思いを語り合いませんか。ご参加お待ちしております。

### 記

- |   |    |     |      |           |   |
|---|----|-----|------|-----------|---|
| 1 | 日時 | 第1回 | 令和6年 | 6月13日(木)  | 午後1時30分から午後3時まで<br>*どの回からでも参加できます。<br>会場は1時から開放しています。 |
|   |    | 第2回 |      | 8月8日(木)   |   |
|   |    | 第3回 |      | 10月10日(木) |   |
|   |    | 第4回 |      | 12月12日(木) |   |
|   |    | 第5回 | 令和7年 | 2月13日(木)  |   |

※10月10日(木)は、家族教室として開催。詳しくは、裏面をご覧ください。

※感染症対策に留意し、中止とさせていただく場合があることをご了解ください。

(中止の場合には申込みされた方に連絡をし、ホームページに中止の旨を掲載致します。)

- 2 会場 新潟県精神保健福祉センター  
(新潟市中央区上所2丁目2-3 新潟ユニゾンプラザ ハート館)

- 3 内容 日ごろの悩みや体験を語り合う  
\*スタッフが進行をお手伝いします。



皆さんのお話  
に勇気づけられ、  
情報も得られ  
て、助かります。  
(参加者の声)

- 4 対象 高次脳機能障害者のご家族

- 5 申込み 開催日の概ね1週間前までに、電話でお申し込みください。  
※今年度のつどいから初めて参加を希望される方で、これまで当センターへ相談をしたことのない方については、事前に担当者がお話を伺いますので、開催日の概ね2週間前までに、電話でお申し込みください。  
※当日、体調不良の場合は、ご参加をお断りする場合があります。

### 【問合せ・申込み先】

新潟県高次脳機能障害相談支援センター  
(新潟県精神保健福祉センター内)  
電話：025-280-0114

主催 新潟県精神保健福祉センター  
共催 新潟市

# 高次脳機能障害者「家族教室」のご案内

病気や事故により脳に障害を受けた後、記憶力、注意力、計画的に物事に取り組む能力、感情のコントロールや意欲が低下するなどの状態を「高次脳機能障害」といいます。

外見からは障害が分かりにくいいため、周囲からの理解を得られにくく、ご本人やご家族は戸惑い、さまざまな生活への不安を持つなど共通の悩みを抱えています。

そこで、ご家族を対象とした学びの場として「家族教室」を開催します。開催日時は、下記の通りです。関心のある方はこの機会にぜひご参加ください。

**日 時** 令和6年10月10日（木） 午後1時30分から午後3時まで

**会 場** 新潟県精神保健福祉センター  
（新潟市中央区上所2丁目2-3 新潟ユニゾンプラザ ハート館）



## プログラム

日 時	内 容	講師等
令和6年 10月10日（木） 13:30～15:00	オリエンテーション（5分）	
	講話 「高次脳機能障害とともに生活 するとはどういうこと？ ～障害理解と環境調整～」(45分)	【講師】 社会福祉法人 豊潤舎 新潟県障害者リハビリテーションセンター 所長 西片 寿仁 氏
	休憩（5分）	
	自己紹介・語り合い 「体験を共有しましょう」(30分)	※進行のお手伝いを センター職員が行います。
	まとめ・アンケート記入等 (5分)	

\*\*\*\*\*

\*都合により、内容の一部を変更する場合があります。

\*新潟県高次脳機能障害相談支援センター・新潟市こころの健康センターの職員がスタッフとして参加します。

\*高次脳機能障害に関する基礎的なことを学ぶことができます。この機会にぜひご参加ください。

